

科目名 (科目番号)	解剖学実習 (時間割参照)	教員名	向後和典 山本竜也 澤田和彦(保健栄養学科)	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2		
							授業形態	実験・実習
授業概要	「人体の構造」「運動器系神経系の解剖学」などの講義を通じて得た知識を基に、模型や標本の観察、体表観察、触察、小動物の解剖、3D-webコンテンツ等の実習を通して理学療法士として必要な解剖学の知識について、より深く理解する。特に運動器系（骨格系、筋系）については3D-webコンテンツ・模型・標本の観察・体表観察、触察を通じて身体における位置とその個人差について学習する。							
目的・目標	目的: 「人体の構造」「運動器系神経系の解剖学」などの講義を通じて得た知識を基に、模型や標本の観察、体表観察、触察、小動物の解剖、3D-webコンテンツ等の実習を通して理学療法士として必要な解剖学の知識について、より深く理解する。 目標: 模型や標本の観察、体表観察、触察、小動物の解剖、3D-webコンテンツ等の実習を通して理学療法士として必要な解剖学の知識について理解できる。 特に運動器系(骨格系、筋系)については模型・体表観察、触察、3D-webコンテンツを通じて身体における位置とその個人差について理解できる。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	授業ガイダンス・骨格系①	到達目標:授業で使用する教材の使い方を理解する。特にWebコンテンツ(Visible-body-suite) 基本的な使用法について確認する。「人体の平面と位置」、頭蓋・脊椎・胸郭を構成する骨の構成と構造の詳細について説明できる 実習内容:授業で使用する教材の使い方を学ぶ。「人体の平面と位置」、頭蓋・脊椎・胸郭を構成する骨の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	2	骨格系②	到達目標:上肢/上肢帯・下肢/下肢帯を構成する骨の構成と構造について説明できる。 実習内容:上肢/上肢帯・下肢/下肢帯を構成する骨の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	3	筋系①	到達目標:上肢・上肢帯の筋の構成と構造について説明できる。 実習内容:上肢・上肢帯の筋の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	4	筋系②	到達目標:下肢・下肢帯の筋の構成と構造について説明できる。 実習内容:下肢・下肢帯の筋の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	5	筋系③	到達目標:体幹部(頭頸部・胸腹部)を構成する筋の構成と構造について説明できる。 実習内容:体幹部(頭頸部・胸腹部)を構成する筋の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	6	呼吸器系	到達目標:呼吸器系の構成と構造について説明できる。 実習内容:呼吸器系の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	7	循環器系	到達目標:循環器系の構成と構造について説明できる。 実習内容:循環器系の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	8	中枢神経系	到達目標:中枢神経系の構成と構造について説明できる。 実習内容:中枢神経系の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	9	末梢神経系	到達目標:末梢神経系の構成と構造について説明できる。 実習内容:末梢神経系の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	10	消化器系	到達目標:消化器系の構成と構造について説明できる。 実習内容:消化器系の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	11	泌尿器系・生殖器系	到達目標:泌尿器系・生殖器系の構成と構造について説明できる。 実習内容:泌尿器系・生殖器系の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	12	特殊感覚器系	到達目標:特殊感覚器系の構成と構造について説明できる。 実習内容:特殊感覚器系の構成と構造について3D-webコンテンツ・模型を用いて学習(調べ学習・観察・スケッチなど)する。					
	13	肉眼解剖	到達目標:主な臓器の原位置と肉眼解剖的構造について解剖体を用いて説明できる。 実習内容:【対面時】小動物を解剖し、胸腔および腹腔内の臓器を肉眼解剖的に観察する。 【オンライン時】画像標本を用いて人体の主な胸腹部臓器を観察・スケッチする。					
	14	組織解剖	到達目標:人体の主な腹部内臓の組織構造について説明できる。 実習内容:肝臓、腎臓、脾臓の組織標本を観察・スケッチする。					
15	体表解剖	到達目標:筋・骨格系に加え、脈管系、神経系の構造物について人体の体表から観察および触察が可能な主なもの指し示すことができる。 実習内容:自身あるいは友達を身体を観察・触察する。						
成績評価の方法・基準	授業毎の課題提出（100％）【対面・オンライン共通】							
教科書	改訂6版ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 リファレンスブック			阪本桂造・監訳		医道の日本社 公益財団法人 日本スポーツ協会		
参考図書	解剖学 澤田和彦・坂田ひろみ 編著 理工図書 3D-webコンテンツ(visible body suite) アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト1 運動器の機能と構造 監修:河野一郎、片寄正樹 文光堂 よくわかる筋の機能解剖 第2版 足立和隆・翻訳 メディカルサイエンスインターナショナル							
教員からのメッセージ	実習中は構造をしっかりと観察することを重視してください。また、他の関連科目(「人体の構造」、「運動器系・神経系の解剖学」など)の内容との関連付けを意識しながら授業に臨んでください。レポートはコメント等を付し返却します。 オンライン対応により授業計画に変更がある場合はオンラインクラスにて変更のシラバスを周知します。							